

「トンボ池等湿地環境再生検討会」設立趣旨

トンボ池等の過去の調査では、３８種類（希少種６種）のトンボや多くの沈水植物（希少種含む）等の生息・生育が確認されていた。

しかし近年、冬の渇水期には水枯れ、底泥の堆積、外来魚等の侵入、トンボ池等周辺の環境の変化に伴い、トンボ池等周辺のトンボの種類・数は漸減してきている。また、沈水植物、抽水植物、浮葉植物の種類も大幅に減少するなど、生息・生育環境の悪化が著しく、湿地環境の再生の対策が急務となっている。

トンボ池等湿地環境再生のためには環境悪化の原因となっている様々な要因に対して、環境の改善を進める必要がある。トンボ池等の自然を復活させるためには市民、行政、及び学識経験者が協働して対策を検討し再生の実現を図る必要がある。こうしたことから、「トンボ池等湿地環境再生検討会」を設立するものである。